

養父市大屋市民センター・大屋地域局 (近畿地区)

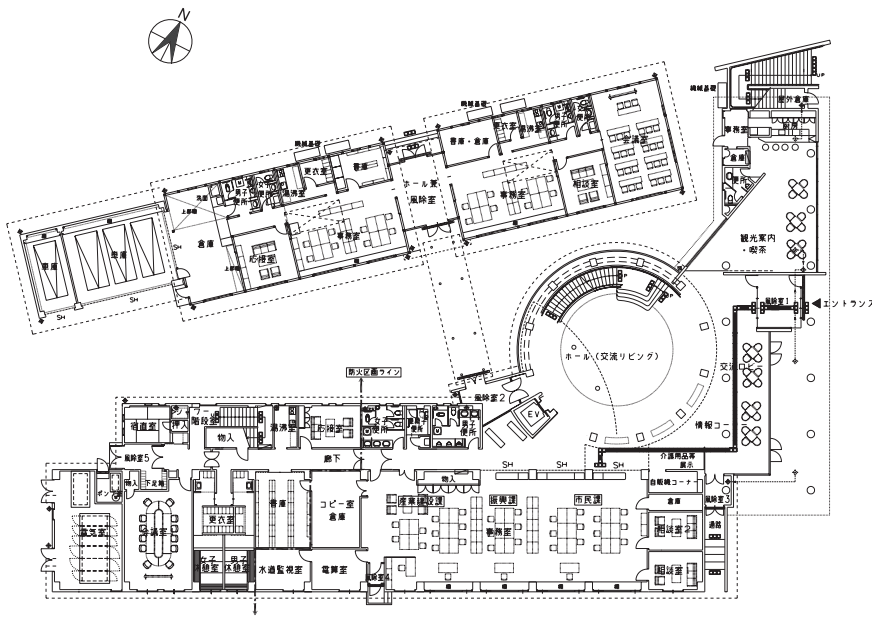


正面玄関



繭をイメージさせるエントランスホール

- 所在地 : 兵庫県養父市大屋町大屋市場 20 番 1
- 敷地面積 : 3,613.39 m²
- 建築面積 : 1,709.61 m²
- 延床面積 : 2,212.57 m²
- 構造・階数 : RC 造(屋根 W 造) + W 造
+ 膜構造 地上 2 階・1 階
- 事業者 : 養父市
- 設計者 : (株)日本設計
- 施工者 : 福井・安井特別 JV
- 竣工年月 : 平成 17 年 10 月
- 総工事費 : 500 百万円



1 階平面図

養蚕農家の伝統的建築群が美しい自然豊かな環境の中にあつて、町村合併による行政サービスの低下をカバーする地域密着型複合施設であるが、おおらかに自然環境と調和し、地元の素材やデザイン要素を取り入れたことで、人々の生活の記憶を伝える建築になっている。とくに養蚕家屋の意匠、匠の技の継承は訪れる人々を魅了している。

蚕の「まゆ」を連想させる交流リビングや、木材を多用した会議室は天井も高く、外光をふんだんに取り入れた気持ちの良い柔らかい空間を生み出し、図書室や観光案内所などでは、ヒューマンスケールの親しみのある雰囲気を作りだしている。運営面では、交流リビングを中心に、地域の情報発信の場としての役割を果たすと同時に、地域の文化的活動を支える役割も担っている。さらに図書室や観光案内所は、地元住民の身近な交流の場としても活用されている。

竣工後、経年とともに木材や瓦、土壁などの味わいが増し、地域に合った素材の選択と景観に配慮したデザインは、地域の景観形成のモデルに成り得ている。